

# 館報

# はた



平成30年7月1日現在

世帯数 6,150戸  
人口 15,740人  
男 7,591人  
女 8,149人

## 町内公民館対抗ソフトボール大会

## Aリーグ、優勝は10区



恒例のソフトボール大会が5月27日に、初夏を思わせるような晴天の下、実施されました。

今年の大会は、体育委員会の会議の結果、Aリーグ・Bリーグに分かれて試合を行うこととなりました。Aリーグの中央運動広場では、開会式が行われ体育委員長の挨拶、優勝旗返還がありました。

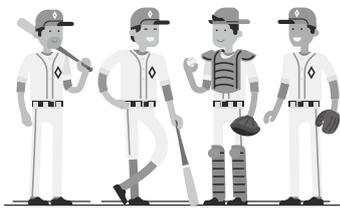


Aリーグは、9チームが中央運動広場でトーナメント方式で、優勝を目指す競技型で行い、Bリーグは、10チームが下鳥運動広場・波田学院グラウンドで、親睦を目的とするリーグ戦でそれぞれの区が2試合を行いました。



### Aリーグ試合結果

優勝	10区
準優勝	20・27区合同
3位	3区・25区



Aリーグの試合結果は次の通りです。

が行われていました。まあまあ好評のようでした。しかし、各会場も選手、役員以外の人の数が少ないように思われました。以前はもっとたくさんの方々が集まり盛り上がりがあったような気がします。

これからも、波田地区ではまだまだ様々な大会、行事等があります。選手、役員、関係者だけでなく、もっと地区の方々に関心、興味を持ってもらえるような努力、工夫をしていかないと、盛り上がりには欠け、すべての行事等が衰退してしまうような気がします。役員、関係者の皆様からの行動に期待しております。

今年4月に波田中学校に着任されました田澤校長先生に、3カ月経った今、波田への思いについてお聞きしました。

### 波田の風になって!

～波田の心を学校、地域、家庭でともに育てたい～



松本市立波田中学校長 田澤 稔

「波田の心って何だろう?」と校長講話で、生徒に問いかけました。まず、下駄箱の写真を掲示。生徒一人一人の下足がきちんとそろっている。「靴がそろっていると心もそろす。この言葉がぴったりの情景です。清掃の様子では、膝つきでのぞうきんがけをしています。力を入れて、丁寧にやる様子は、本校では当たり前。凡事徹底をめざす「波田の心」が見えてきます。次は、町キレ。挨拶運動の様子です。町をきれいにしようとしてゴミを拾っての登校。また、支所前交差点、波田駅前で生徒役員が挨拶といっしょに小学生にハイタッチをしてしています。「私も小さい時にやってもらいました」と明るく笑顔で対応しています。生徒の隣には、波田まちづくり協議会の皆さんが支えてくれています。感謝です。良いことだけではありません。町内道沿いに落書きの写真です。小学生か中学生かは分かりませんが、その行為が生徒、学校の信頼、信用を失いかねないねと伝えました。地域をきれいにする心、挨拶で地域を明るくする心、いけないことを自ら正す心、これも「波田の心」につながります。また、3カ月ですが、「波田の心」は、確実に育っていています。「心は、育てないと育たない」と言われます。ぜひ、波田の風になってこの地区をより元気に、笑顔にしていなく一人一人として、そして、「波田の心」をつなぐ主人公になってほしいです。地域、ご家庭の皆さんもいっしょに育てていただければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いたします。



平成30年度

### 波田地区防災訓練

6月17日(日)波田体育館にて「平成30年度波田地区防災訓練」が行われました。はじめに震度6強の地震が起きたと想定し、各町会毎に安否確認訓練を実施しました。その後各町会からの参加者が集まり、3つの訓練を行いました。



始めは、日赤奉仕団の皆さんによる指導の下、炊き出し訓練をしました。日赤にて扱っている特殊な袋に米・水・具材を入れて縛るだけという袋を茹であげると、ご飯が炊きあがるものです。緊急時に非常に有効的なものとして感じました。帰りに参加記念として持ち帰りましたが、まるでおいしいおにぎりのような食感でした。



続いて、避難者受付訓練として、名簿への記入方法を学びました。過去の災害から活かした書式の名簿書き込みですが、皆で分担する大切さがわかりました。

最後は、山形消防署さんからの実演指導として、「倒壊家屋救出後の応急処置訓練」として最新の情報を交えたトークにて救出者の意識確認や胸骨圧迫、AEDの実演をしていただきました。すでにAEDの訓練経験者は何名かおりましたが、そのAEDも今では何種類もあり少し戸惑いを感じましたが、基本は同じであり、周囲への呼びかけ、協力の大切さを学びました。

この訓練の後、群馬県、大阪府にて大きな地震が発生しました。災害はいつ起こるかわかりません。訓練と体験の大切さを感じ、多くの方にそれを知ってほしいです。

### 波田の風景

## 波田三溝フラワーズゾーン

今年も上高地線沿いを彩るフラワーズゾーンに花がそろいました。

場所は国道158号線と上高地線三溝駅の西に約300mの区域です。花壇作りは土壌作りから始まります。

5月19日朝8時半から1区町会長、分館長、「波田花のある会」会員と有志の9名の方々により区域の中を小型の機械で起こし肥料を撒いてマルチで覆いました。

本番は6月16日と17日の両日に担当者の都合によりそれぞれの名札のある場所に白とピンクのペゴニアやマリィゴールドの3通りの植え付け作業です。手際よく植え込み、水やりをして終了ですが、シーズン中は水やりや雑草の除去にも気を配ります。

このフラワーズゾーン作りは平成14年波田町の時代に商工



会が中心になって植えたのが始まりだそうです。現在は松本市の補助を受け1区の町会「波田花のある会」会員・地元有志・企業の協力や協賛を受けて引き継がれ、松本市の花壇コンクールに入賞した経験もあります。

今後毎日往来する人達を癒やすばかりでなく、乗鞍高原や上高地への観光客の人々を楽しませてくれることでしょうか。



（願望）  
仕事の関係  
でセミナーや  
勉強会など人

の話聞く機会が非常に多いが、最近大変勉強になる話があった。自分は経営者ではないが、経営者が今の状況を満足すれば会社の成長は止まる。むしろ下がる可能性の方が高い。テーマは「願望」という視点の深掘りであった。企業の「使命と未来」を明らかにすることで、明確な「願望」が描けるという訳だ。『あなたは何の為に仕事をしているのか』常に忘れてはならない普通のテーマがそこにある。願望探究の課題に2分でまとめて発表した。が、うまく伝えられなかった。何故か？それは自分の感じる使命を相手が共感できず、どうお役に立てるか明確に伝えきれないことが理由だ。過去を振り返り、現在、未来を一本の線でつなげていく。そこに人の生き様から使命と願望がみえてくる。

私は一番近い家族、社員、取引先、得意先様、お客様に想いを伝える場面があったのか自問自答する。『あなたは何の為に仕事をしているのですか？』この質問に明確に答えられるようにしていきたい。